

ブリタニカ・オンライン・ジャパン 2014 年の新機能 ～ 事典を渡り歩く「関連項目」～

ブリタニカ・ジャパン株式会社

ブリタニカ・オンライン・ジャパンは、日本語の『ブリタニカ国際大百科事典』と英語の *Encyclopædia Britannica*[®] をベースとした知のポータルサイト。日本はもとより、世界の学術研究、報道の第一線で活躍する執筆陣が、あなたの調査、学習をサポートします。論文やレポート、ビジネス資料の作成など、さまざまなシーンでご利用になれるサービスです。

◆ブリタニカ・オンライン・ジャパンの収録コンテンツ

ブリタニカ・オンライン・ジャパンは、ブリタニカ国際大百科事典小項目事典、大項目事典、国際年鑑で構成されています。通常の検索では、収録見出し語数が最も多い小項目事典の検索結果がまず表示され、大項目事典や国際年鑑の検索結果は、検索結果画面で選択できるようになっています(右図参照)。

◎小項目事典は「引く事典」

あらゆる情報をすばやく、わかりやすく提供するのが小項目事典の役割。その情報量は 15 万 4,000 項目にも及びます。引きやすさに重点をおいた項目立てと簡潔な記述で、さまざまな事物の確認に役立つ百科事典です。

◎大項目事典は「読む事典」

ものごとの成り立ちからできごとの背景にいたるまで、広範かつ詳細に理解することを目的とした大項目事典。その情報量は 1 項目平均 1 万字、長いものは 10 万字近く、まさに読む事典といえるでしょう。

◎国際年鑑で「世界の動き」を知る

年 1 回刊行される国際年鑑は、大項目事典の内容を最新のものに保つため百科事典をアップデートすると同時に、時事的な側面からも世界各国・各分野の最新の動きを記録。いま世の中で起こっていることを学術的・体系的に理解する助けとなります。

◆新機能の「関連項目リンク」で事典を渡り歩く

2014 年 3 月のデータ更新で、引く事典としてコンパクトにまとめた小項目事典に、関連する大項目事典および国際年鑑の記事へのリンク[関連項目]を追加しました。これにより、これまでの検索や閲覧メニューの利用とは別に、小項目事典から関連する大項目事典や国際年鑑の項目を参照できるようになりました。より関連性の高い項目や、項目名検索などでは見つけにくい項目を、[関連項目]からたどってみてください。

たとえば小項目事典の「アメリカ合衆国」。本文は小項目ならではの要点を押さえた記述ですが、関連項目には 2003 年から 2013 年までの国際年鑑の国項目に加え、4 年ごとの大統領選挙、ティーパーティー運動(2011 年版)、サブプライムローン問題(2008 年版)、エンロン事件(2003 年版)といった特集記事をあげています。百科事典の包括的な解説とは別に、毎年の内政、経済、外交や事件、出来事を通して、アメリカの国情をさらに知ることができます(次頁

▼検索結果の例:「アメリカ合衆国」の前方一致で検索

The screenshot shows the search results for 'アメリカ合衆国' on the Britannica Online Japan website. The search filters on the left indicate that the search was performed in the '小項目事典' (Small Project Encyclopedia) section. The search results on the right list several items related to the United States, including the country itself, its constitution, history, and various treaties and courts. The first result is 'アメリカ合衆国' (United States of America), which is highlighted. The search results are displayed in a clean, organized layout with a blue header and footer.

図参照)。

小項目事典「セルビア」の場合は、国際年鑑の2003年版の「ユーゴスラビア」、2006年版までの「セルビア・モンテネグロ」、2007年版以降の「セルビア」を参照しており、分離独立が繰り返されたセルビアの10年間の動きを1年ごとに克明にたどることができます。

◎より包括的に、体系的に、そして多様な側面から

時事問題のほかにも、中央アメリカで古代から16世紀まで栄えたマヤ文明。小項目事典はマヤ文明が栄えた時代と特色を簡潔に説明しており、関連項目には大項目事典の「マヤ文明」と、国際年鑑の関連記事をあげています。国際年鑑の「マヤ最古の暦の発見」(2013年版)は、2012年にグアテマラのマヤ遺跡で発見された、そして終末論で騒がれた、マヤの暦について、また「マヤ文明の謎を解く」(2000年版)は、当時の最新の知見に基づいたマヤ文明研究を、学術的な要素を押さえつつ百科事典とは異なる観点から、論じています^{*1}。

さらに「アホウドリ」のような項目では、広義の項目を参照しています。小項目事典の「アホウドリ」は、アホウドリ科に属する種の一つであるアホウドリの項目です。関連項目の大項目事典「アホウドリ・ウミツバメ類」は、アホウドリ科という上位の分類について、生態やおもな種など、より網羅的に解説しています。なお、アホウドリは絶滅が危惧されており、人為的に繁殖地を広げようとする計画が進んでいます。国際年鑑で特集したこの「大作戦」^{*2}も関連項目にあげてあります。

最後に、小項目事典の「ルーズベルト」^{*3}を紹介しします。大項目事典の「アメリカ合衆国史」と「ルーズベルト」に加え、2003年版国際年鑑の「テディベア誕生100年」が関連項目です。よく知られたエピソードですが、ご存じでない方は、ぜひご一読ください。

小項目事典には関連項目リンク以外にもブリタニカ編集部厳選のWebサイトへのリンクや、世界に認められたブリタニカの英語の百科事典 *Encyclopædia Britannica* の記事へのリンクもあり、これらの情報も参考にすればさらに網羅的に調査を行うことができます。

^{*1} 「マヤ文明」の関連項目リンク「マヤ最古の暦の発見」「マヤ文明の謎を解く」は2014年6月頃追加予定。

^{*2} 「アホウドリ」の関連項目リンク「アホウドリ移住大作戦」は2014年6月頃追加予定。

^{*3} 「ルーズベルト」の関連項目リンク「ルーズベルト」「アメリカ合衆国史」「テディベア誕生100年」は2014年6月頃追加予定。

◆無料トライアル受付中

ブリタニカ・オンライン・ジャパンに関するお問合わせ・お申込みは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部(電話:03-6310-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp)までお願い致します。

*お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

▼関連項目リンクの例:小項目事典「アメリカ合衆国」

The screenshot shows the Britannica Online Japan page for 'アメリカ合衆国' (United States of America). The page includes a search bar, navigation links, and a detailed article. The article features a map of the United States, a photograph of a canyon, and text describing the country's geography, population, and government. A list of related articles is provided, including '2012年アメリカ大統領選挙 (2013年版)', 'ティンバーティ 新しい政治勢力 (2011年版)', 'アメリカ大統領選挙 変化を求めた有権者 (2009年版)', 'サブプライムローン—混乱の引き金 (2008年版)', '2004年アメリカ大統領選挙 (2005年版)', 'エンロン—栄光から破滅まで (2003年版)', 'アメリカ大統領選挙と新政権の課題 (2001年版)', 'アメリカ大統領選挙 (1993年版)', 'アメリカ合衆国 (2013年版)', 'アメリカ合衆国 (2012年版)', 'アメリカ合衆国 (2011年版)', 'アメリカ合衆国 (2010年版)', 'アメリカ合衆国 (2009年版)', 'アメリカ合衆国 (2008年版)', 'アメリカ合衆国 (2007年版)', 'アメリカ合衆国 (2006年版)', 'アメリカ合衆国 (2005年版)', 'アメリカ合衆国 (2004年版)', and 'アメリカ合衆国 (2003年版)'. There is also a 'Web Sites' section with links to '在日アメリカ大使館', '在日アメリカ大使館・商務部', 'White House (英語)', 'U.S. Census Bureau (英語)', 'CIA - The World Factbook -- United States (英語)', and '各国・地域情勢 (外務省) -- アメリカ合衆国'. A '小項目事典' section is also visible at the bottom.